

国府幼稚園教育目標

つながって ひろがって はばたいて

～自分大好き 幼稚園大好き 国府の町大好き～
(自己肯定感) (社会性・協同性) (地域連携・幼小中連携)

- ・健康で、安全な生活をつくり出す力を育てる
- ・身近な人や環境にかかわる力を育てる
- ・自分の思いや考えを表現し、相手の気持ちを感ずる力を育てる
- ・言葉に対する感覚や言葉で表現する力を育てる



国府幼稚園の特色

- ★好きな遊びを通しての総合的な教育活動
- ★安心して楽しむ子育て応援＆保護者支援
- ★教師の資質向上とチーム力を活かした職員集団
- ★一人一人の特性に応じた特別支援教育

● 充実した3年（3歳児・4歳児・5歳児）保育をしています

4歳児・5歳児の時期は、身体も言葉数も目に見えて伸びるようになり、心もぐんぐん伸びる力をもっています。5歳児は4歳児に思いやりをもったり、大きくなった自分に自信をもったりします。また、4歳児は5歳児の遊びを真似たり、あんなことができるようになりたいと目標にしたりします。たがいに親しみをもち交流することで、共に育ち合い、豊かな人間性を培うことができます。

また、3歳児は、初めての集団生活の中で、先生や同じ3歳児の仲間と一緒にいる安心感やかかわる楽しさを感じ、4歳児・5歳児の姿から刺激を受けたり、異年齢の存在へのあこがれを感じたりします。



刺激



● 意欲的に遊ぶ幼児を育てています

年長児の遊びから刺激を受け、自分でも経験していますね。
その後、自分たちだけでもしようとしていきます。
※試行錯誤をする経験は、小学校以降の学習意欲を高める力となっていきます。

3歳児も「やってみたい!」ことを先生と一緒に楽しんでいます。

子どもにとって、遊びは生活のすべてです。幼稚園の「遊び」は**学習**です。しっかりと遊ぶことは、集中して物事に取り組む姿勢や根気強さを育むうえでとても大切です。

国府幼稚園では、広い園庭で力いっぱい駆けまわってボール遊びや鬼ごっこをしたり、水や砂の感触を肌で感じながら砂遊びを展開したりして、活動します。

室内では、中型積み木を組み立てたり、ままごとコーナーを自分たちで構成したりして、自らの遊びの場を作りながら、友達と意欲的に遊ぶ子、活動する子を育てます。

また、友だちとかかわりながら遊ぶ中では、**人とかかわり方**が学べます。

人の気持ちに気付いたり、自分の思いを言葉で伝えたりする経験を積み重ねることによって、**相手と折り合いをつけて**物事を進める力や**協調性**や**思いやりの心**、**葛藤**や**挫折を乗り越える力**を育て**大人になってからの、社会で生き抜く力**、社会性を身につけていきます。

そのために教師は、**幼児一人ひとりの発達と育ちに必要な経験を見通した、指導計画に基づいた環境**を整備し、その中での遊びを通して、**幼児にどのような力をつけさせたいのか**、一人ひとりの**何を、どこを育てたいのか**を精選し、ねらいを持って幼児にかかわります。

また、幼稚園では、意図的にからだを動かす遊びを取り入れ、からだを動かすことの心地よさを感じられるような工夫をし、幼児期の体力向上にも力を入れています。

このように、幼児期にさまざまな「ひと」や「もの」や「こと」に触れたりかかわったりして**意欲的に遊ぶことは、小学校以降の学習への意欲や主体的に学習する態度につながります**。ゆえに、国府幼稚園では子どもの主体的な遊びを大切にしています。



「こっちはどうする?」
友だちとお家作り楽しいね



カブトムシを幼虫から育てて、毎日観察しています。



年長児がしている踊りに入れてもらったよ!はじめは見ていただけだったけど、してみるとすごく楽しいね!

触る、見る、聴くなどの**五感**を働かせ、工夫して遊んだからこそ体得できた**達成感**!

友だちや先生に気付きを伝えながら、遊びを**発展**させたり、遊びを通して育った**好奇心**、**意欲**は、将来、生きぬいていくために**必要な力**そのものです!

●地域の教育力をいただきながら・・・

国府幼稚園では、地域の方のご協力を得て、様々な場所や施設に出かけています。

地域の方々の支援により作られた立派な畑では、四季折々の自然を感じながら、苗植えや芋掘りを楽しんだり、近くの三宅神社でドングリ拾いをしたり、郵便局まで葉書を出しに行ったり、野菜の直売場で買い物体験などをしたりして、子どもたちは、地域のすばらしさに気付き、体験を通して様々なことを学んでいます。七夕の前には、地域の方に切ってきていただいた笹に飾りを付けました。秋には、地域の方の協力で、親子で焼き芋大会を楽しんでいます。

また、国府地区まちづくり協議会や防犯委員会等に職員も参加したりして、地域の方と協力しながら子どもたちの教育活動を推進しています。

消防署見学に行ったよ！



●野菜作りを通して食育に取り組んでいます

園庭の畑では、年間を通して、その季節に応じた野菜作りに取り組んでいます。収穫した野菜を使って調理体験をすることによって、苦手だった野菜が食べられるようになる姿もみられます。毎日、野菜の生長を楽しみに水やりや草ぬきなどの世話をしたり、収穫の喜びを味わったりすることを通して、「食」への関心や、生き物を大切にすることを育んでいます。こうした活動を通して、健康に関する基本的な生活習慣を身に付けることの大切さを保護者の方にも伝え、豊かな心の育成を目指しています。

↓ 地域の方が協力してくれます



なす きゅうり トマトがたくさんできたよ！ 大きなすいかもできました。

近くの畑で地域の方にお手伝いいただき、サツマイモの苗さしをしたよ！



●国府小学校・平田野中学校・杉の子支援学校・各種関係機関との交流や連携を大切にしています

幼稚園と小学校・中学校の学びの連続性を考え、近くの国府小学校、平田野中学校とも連携した教育活動をしています。幼稚園の教員が小中学校の先生と合同で研修を進めたり、教育内容について話し合ったりして、幼稚園教育の充実に努めています。

5歳児は、国府小学校の1年生と一緒に交流活動をしたり、授業見学をしたりして小学校進学への期待をふくらませています。また、平田野中学校の生徒が職業体験実習で幼稚園を訪れ、園児と交流しながら学習しています。

園児一人一人の多様性や特性に応じたきめ細やかな保育を推進するために、鈴鹿市子ども家庭支援課、療育センター、杉の子支援学校等、各種関係機関と連携を図りながら保育の資質向上に努めています。

●地域の「ラピッドスポーツクラブ」と「YFT」 2つの専門コーチによるサッカー教室（月1～2回）

サッカーを中心に、運動を通して、ルールを守る規範意識、礼儀、相手への感謝、敬う心を育てながら、運動が好きな子、自ら体を動かし運動をしたくなる子を育てるための体力向上を図ります。



●こうっこタイムを通して、異年齢交流をしています

年長児と年中児の異年齢交流『こうっこタイム』をもつことで、普段からの互いのかかわりがより多くなり、親しみが増しています。こうっこタイムは、その時期の子どもたちの姿や遊びに応じて、活動内容を考えています。昨年度からは、3歳児年少児も、参加できる活動は一緒に交流しています。

●養護教諭が配置され、安心して健康管理のサポートを受けられます

専任の養護教諭が配置されているのは、本園だけです。園児の基本的な生活習慣の定着をめざした取り組みや、健康管理についてきめ細やかなアドバイスは勿論、コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の流行風邪などの状況や対策もいち早く専門的にお伝えすることができます！

異年齢グループで楽しんだ『夏まつり』



各学年ごとに『歯みがき教室』



●PTA 活動は、園児を中心に、園児とともに！！

「PTA 役員さんになると大変ですか？」という声をいただきます。国府幼稚園は、PTA 活動をすべて役員さんにお任せするのではなく、行事ひとつひとつを「何のために」「どのように」と、PTA 役員さんと園が話し合い、精選し、計画し、共通理解のもとで、すすめていただいています。

園児を中心に考えているからこそ、形だけでなく、楽しく心のこもった行事になっています。今年も、『国府幼稚園運動会』を園児と PTA 役員さんを中心とした保護者の皆様と職員とで作り上げていく予定です。(下スナップは令和 5 年度参照)

ぼくたち わたしたち PTA 役員さんたちの 運動会！！



令和 5 年度より、3 歳児保育が始まりました！！

令和 5 年度より 3 歳児保育が始まりました。園庭、保育室の環境構成や 3 歳児保育の年間を通した指導計画等、設備面も保育面も充実したものとなるよう、3 年間を見通して考えてあります。園児は自然豊かな園庭や保育室で、じっくりと遊びながら、先生や 3 歳児同士のかかわり、4・5 歳児のお兄さん、お姉さんとの密な交流から、豊かな感情体験や様々な経験をしています。それが、人とのかかわる力やあらゆることへの意欲や自信となっております。

